

米子市長「誤答弁」で陳謝・誰に・・・！

「条文説明を怠る」・職員を懲戒処分

3月定例会の冒頭に、前代未門の出来事が起こった。

市議会の質問戦で、「誤った答弁をした。」市長、副市長と部下2人の懲戒処分で記者会見。

記者会見の真意は、誰に対しての陳謝か。職員懲戒処分の情報公開か・・・。

「法令の説明を怠ったことは、市長の政策判断に重大な影響を与えた・・・」

市長の政治判断ミス、職員の説明責任に転嫁した前例のない懲戒処分！



米子市長「誤答弁」で陳謝
都市公園法間違える

構想案見直しに言及

米子市の史跡公園計画は、市議会定例会で市長が説明した内容と異なり、都市公園法に抵触する恐れがあるとして、市長は「誤答弁」をしたと認めた。市長は「誤答弁」をしたと認めた。市長は「誤答弁」をしたと認めた。

米子市長「誤答弁」で陳謝

米子市長は、3月定例会で「誤答弁」をしたと認めた。市長は「誤答弁」をしたと認めた。市長は「誤答弁」をしたと認めた。

21.3.-4
日本海

市議会の「誤り答弁」の記者会見、前代未門・・・！

「誤り」とは、正しい道筋からはずれる。しくじる。「間違える」とは、たがえる。とりちがえる。と辞書に記されている。

市議会での「誤り」答弁は、許されることではない。しかし、市長任期の間に「誤り」答弁が皆無かと言えウソになる。通常議会の「誤り」「間違える」答弁は、その場か、その後の会議で訂正することで決着をしている。

「史跡公園計画（案）」の状況で、質問戦の「誤り」を記者会見で陳謝するというのは、前代未門の異常さを感じる。「誤り答弁」の記者会見は、今後も継続か？

「史跡公園計画」は、市長の政策判断ミスではなかったのか・・・！

「都市公園法」を間違えて説明した部下の責任は、市長の政策判断に重大な影響を与えたという懲戒処分の説明は、過去に照らして前例がない。これも異常である。

部下は、法で市長の政策審査権を持たないとされている。

従って、部下は「史跡公園計画」の是非の判断ではなく、実現にむけた政策環境を整えることを服務としている。

市長は、「借地が返還できるとは、知らなかった。」と説明しているが、事前に国、県との協議を部下に命じていれば、「誤解釈」「誤答弁」も起こらなかった筈だ。

この「誤り」は、借地料解消を口実にした民有地三ヶ所の買い上げに應える方策が根にあって、市費負担の少ない「国史跡指定の追加」を選択した「誤り」である。

議会の質問者に、事前の「釈明」は無い・・・！

議会の「誤答弁」は、質問者が居て起こったことではないだろうか。しかし、記者会見前後も、質問者の小生には「釈明」の一言もなかった。議会質問で、「(当事者への) 釈明を質した」後に、改めて「お詫び」という市長答弁があった。

「誤答弁」の陳謝は、正しい道筋からはずれていたことを正すことを意味する。「史跡公園計画（案）」の白紙撤回も視野入れた「陳謝」の本意は、何処か。